

協議：本校教育の充実に向けて、学校運営協議会としてできること

【中学部第1学年 音楽の授業を参観して】

委員①

- ・やりたい活動や楽器など、たくさんの選択肢から自分で選ぶことができるところがよいと思った。
- ・リズムの強弱の学習は、日常生活の中で「ここは静かにする」という場面にも生かすことができるのでは？と感じた。
- ・保護者目線で参観して、とても楽しい授業だと感じた。

委員②

- ・生徒がよく使っていることばを使ってリズム打ちをしたのはわかりやすくよい。
- ・前半の2つの活動のねらいが、ドラムサークルにつながっていた。
- ・リズム打ちは上手にできていたが、ファシリテーターに合わせるのは難しかった。一列に並んでいたため、ファシリテーターの動きが見えなかった。ファシリテーターと教員が楽器演奏者から見える位置に立つという工夫もできるのでは。
- ・特別支援学校の授業の傾向とも言えるが、どうしても子どもたちの待ち時間が長くなる。通常学級の子どもたちは、前に出て問題を解いたりしている生徒を見て学ぶことができるが、特別支援学校の子どもは「自分がやりたい」という気持ちが強く友達の活動から学ぶことは難しい。
- ・待ち時間には、何を学ぶかを明確に示すことが大切。また、待ち時間には何か別のことをさせるという方法もある。

【本校教育の充実に向けて、学校運営協議会としてできること】

- ・普段の授業を参観させていただくと、先生方が何を大切にしているかよくわかる。次年度も、学校運営協議会委員による授業参観の取組を続けてほしい。
- ・若手の先生が生き生きとすれば、学校全体が元気になる。若手の先生を育てていくために、学校運営協議会委員と若手の先生が話す機会を設けてほしい。年度始めと年度終わりで若手の先生が伸びていく様子を見たい。